

第6期 株式会社すかいらーくレストランズ

貸借対照表

(2020年12月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
		<b>負債の部</b>	
		<b>流動負債</b>	<b>31,113</b>
		未払金	9,305
		未払費用	10,950
		未払消費税等	6,378
		預り金	4,163
		賞与引当金	318
		<b>固定負債</b>	<b>553</b>
		預り保証金	553
		<b>負債合計</b>	<b>31,666</b>
		<b>純資産の部</b>	
		<b>株主資本</b>	
		資本金	10
		資本剰余金	80
		その他資本剰余金	80
		<b>利益剰余金</b>	<b>△15,788</b>
		利益準備金	3
		その他利益剰余金	△15,790
		繰越利益剰余金	△15,790
		<b>純資産合計</b>	<b>△15,698</b>
<b>資産の部</b>		<b>負債及び純資産合計</b>	<b>15,968</b>
<b>流動資産</b>	<b>8,651</b>		
現金及び預金	5,404		
売掛金	55		
商 品	321		
原材料及び貯蔵品	2,170		
未収入金	544		
未収法人税等	157		
<b>固定資産</b>	<b>7,317</b>		
<b>投資その他の資産</b>	<b>7,317</b>		
繰延税金資産	7,317		
<b>資産合計</b>	<b>15,968</b>		

## 個別注記表

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### たな卸資産

- |     |   |
|-----|---|
| 商品  | 最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）      |
| 原材料 | 月別総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定） |
| 貯蔵品 | 最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）      |

#### 2. 引当金の計上基準

##### (1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

##### (2) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

#### 3. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

#### 4. 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

#### 5. 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社は「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」

(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日) 第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

#### 株主資本等変動計算書に関する注記

##### 1. 当事業年度の末日における発行済株式の種類及び総数

株式の種類	株式数
普通株式	1株

##### 2. 剰余金の配当に関する事項

###### (1) 配当金支払額

該当事項はありません。

###### (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度になるもの

該当事項はありません。

関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主等

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
			役員の兼任等	事業上の関係				
親会社	株式会社すかいらーくホールディングス	被所有直接100%	兼任3名	商標権の使用	商標権使用料の支払(注1、3)	14,385	未払金	8,834
				不動産の賃借	不動産賃借(注1、3)	43,462		
				業務の委託	業務の委託(注1、3)	34,489		
				食材等の購入	食材等の購入(注1、3)	80,945		
				売上金の回収	売上金の回収委託(注2、3)	—		
				資金の回収	資金の回収(注4)	5,656	—	—
					利息の受取(注4)	38	—	—
				債務の保証	債務保証(注5)	125,187	—	—
債務の被保証	債務被保証(注6)	553	—	—				

(注1) 商標権の使用料、不動産賃借料、業務の委託、食材等の購入については、これらに係る費用等を勘案して合理的に価格を決定しております。

(注2) 当社の顧客等からの売上金の回収を株式会社すかいらーくが実施したものであり、当社と親会社との直接的な取引ではないため、取引金額の記載を省略しております。

(注3) 同社との契約に基づき、当事業年度末時点で同社に対する債権と債務を相殺しているため、相殺後の残高を記載しております。

(注4) 資金の回収については、短期での反復取引のため、取引金額は当事業年度における純増減金額を記載しています。なお、貸付金利率については市場金利を勘案し合理的に決定しております。

(注5) 金融機関の借入債務及び金利スワップに対する債務について保証を行っております。なお、取引金額には、保証額の期末残高を記載しております。

(注6) 2016年1月1日付の会社分割により承継した債務に対して、同社より重疊的債務保証を受けております。なお、取引金額には、保証額の期末残高を記載しております。

(注7) 取引金額には消費税等を含めておりません。

(2) 兄弟会社等

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
			役員の兼任等	事業上の関係				
親会社の子会社	株式会社すかいらくD&M	—	兼任 1名	業務委託等	清掃等の委託 (注8)	3,654	未払金	188

(注8)清掃等の委託については、市場の実勢価格を参考に決定しております。

(注9)取引金額には消費税を含めておりません。

その他の注記

1. 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。
2. 未収入金の減少（前期末6,340百万円から当期末544百万円への減少）は、主に親会社すかいらくホールディングスに対する営業債権の減少5,676百万円によるものであります。また、未払金の増加（前期末961百万円から当期末9,305百万円への増加）は、主に親会社すかいらくホールディングスに対する営業債務の増加8,834百万円によるものであります。